

はじめに

私たちが心身の健康を保ち、生涯にわたり生き生きと暮らすためには、「食」は欠かせないものです。

しかしながら近年、日々忙しい生活を送る中で、「食」の大切さを忘れがちになっているのではないのでしょうか。

その結果、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの問題、また新たな「食」の問題や「食」の海外への依存の問題、地域の豊かな味覚や食文化が失われる危機など、食をめぐる問題が生じています。

国民が生涯にわたって健康で、豊かな人間性を育むことができる社会の実現を目指すことを目的とした「食育推進基本計画」が、平成18年3月に決定され、これを受けわが町でも「弟子屈町食育基本計画」を作成することとなりました。

この計画は、6つのライフステージに合わせて、具体的内容として学ぶ事項を整理し、「食育」を進める方法や事例を示しています。たとえば、「食事時の家庭でのしつけやマナーを教える」、「安全 安心 健康を考え自分自身を守る賢い消費者となる」、「危ないものをつくらない生産者を育てる」、「地産地消を心掛ける」などです。それも美しい摩周湖や屈斜路湖や硫黄山、そして酪農業などの自然に恵まれた町だからこそです。

今後この計画に基づいて、町民一人一人が健全な食生活を実践し、明るく元気な地域社会 環境作りを推進し、その実現に向けて取り組んでいくことを期待しています。

最後に、「弟子屈町食育基本計画」の作成にあたり、アンケート調査にご協力をいただいた町民の皆様をはじめ、熱心なご協議を重ねていただいた弟子屈町食育推進会議委員や関係機関の皆様に、厚くお礼申し上げます。



平成21年11月

弟子屈町長 徳永哲雄